



卵の苺

学校だより No.373
東浦町立北部中学校
令和 2 年 8 月 24 日

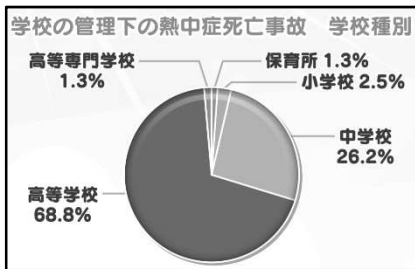


いつもと違う夏休み明けの学校生活

校長 延永 保二

短かった今年の夏休みが終わりました。

まだまだ暑い日が続きます。北部中学校から北西 2 km にある大府地域気象観測所(アメダス)のデータによると、夏休み期間 13 日中 12 日が猛暑日(最高気温 35.0℃以上)でした。今年度は、夏休みが終わっても、しばらく暑い日が続きそうです。熱中症の予防に十分気を付けなければなりません。日本スポーツ振興センターのデータによると、学校管理下における熱中症死亡事故の学校種別では、高校が圧倒的に多く、次いで中学校、小学校の順です。中学校は小学校の約 10 倍、高校は中学校の約 2.5 倍になります。体力的に強い順ではないのです。このことは、熱中症には個人差が大きいことが考えられます。中学校・高校は小学校に



比べ、生徒全体で見ると体力が大きいので活動強度も高くなります。個人差がある中で、つい無理をする人が多くなっているのではないのでしょうか。また、中学生や高校生は「自分の体調を自分で管理することができる」ことが前提になっています。少しでも体調がすぐれないときは、必ず周囲に自己申告してください。無理は禁物です。

さて、暑さと同じく続いているのが新型コロナウイルス感染症の拡大の心配です。本当に先の見えない状況が 3 月から半年近く続いています。6 月の学校再開後には、ある程度の見通しをもって学校も活動計画を立てたのですが、現状では、この先を予想することすら難しい状況です。そんな中、この夏休みに児童文学者のあさのあつこ*さんが、学校休業についての思いを書かれた 3 月末の新聞記事を読

み直しました。この記事の文章は裏面に掲載しますので、皆さんも読んでみてください。

現在、日本中が混乱をしている状況です。この大変な状況の中で体験したことを将来に活かすことの大切さが確認できます。ひょっとすると、すぐ



にも今回の体験を活かす時が来る可能性もあります。あさのさんは別のコラムで「たとえば、戦争を経験している人とそうでない人とでは、平和についての考え方が少し違ってきますよね。それと同じで、今の混乱を経験したあなたたちにしか言えない言葉があるはずなんです。この先の未来のためにも、このことは忘れないでほしい」とも言っています。

さあ、今日から、また学校生活が始まります。この先のことはわからないことだらけですが、授業も、北中フェスタをはじめとする行事も、感染予防をしながら準備を進めていきます。急な変更や中止があるかもしれませんが、できることを粛々と進めてい

くしかないと思います。これ以上、感染が広がらないように、これ以上、混乱をしないように、みんなで考えながらがんばっていきましょう。



■8月21日 全校集会 校長講話 抜粋

*あさのあつこ：日本の小説家、児童文学作家。小説『バッテリー』はのべ1000万部を超えるベストセラーを記録した他、野間児童文芸賞、日本児童文学者協会賞などを受賞。日本児童文学者協会会員。

あさのあつこさんの言葉

令和2年3月22日 朝日新聞

日本中の多くの学校が、突然お休みになりました。卒業や学年が上がる直前の3月に、自分でちゃんとお別れができず、友達と急に断ち切られてしまった人もいるでしょう。学校で勉強するはずだった多くの時間も奪われてしまいました。

当たり前が続くと思っていた日常が突然くると変わる、あるいは消えてしまう。このことを、みなさんにはじっくり考えてほしいのです。それも個人の事情じゃなく、国や社会の事情で変わってしまうことがあるんだ、ということ。

だからこそわたしは、みなさんが主体的にこの時期を生きてほしいと思います。自分が何をしたいか、何をすべきで、何をしたらいけないのか。大人たちの言うことを全部のみにするのではなく、自分で考えて動いてください。

「別れちゃう友達がいるから、どうしても会いたい」と感じるなら、会いに行ってもいい。その場合は、手洗いをちゃんとしようとか、少しせきが出ているから今日はやめようとか、考えてみましょう。そして自分が動ける範囲で動く、ということをやってみてください。

いま世の中にはいやな空気があふれています。トイレットペーパーを買い込んだり、マスクをせずに街を歩く人を「非常識だ」と言ってみたり、デマや不正確な病気の情報に右往左往したり。これはウイルスのせいだと思いますか？

実はわたしには、今まで見えづらかった弱点や短所が、はっきり表れてしまっただけに思われます。「わたしとあなたはちがう」「ちがうから敵だ」「ちがうから許さない」。そう言って相手を攻撃して安心するのは、大人の社会だけでしょうか。学校ではなかったでしょうか。しかしそんな言葉は、今のような状況を悪くしても、良くすることはありません。

でも、もしかするとこれはチャンスかもしれません。

大人は大きな出来事があると騒ぎ、過ぎればすぐ忘れてしまいます。でもみなさんには、一人ひとりの身に降りかかったことを覚えておいてほしい。

友達と会えない悲しみ、学校から解放された喜び、ドタバタする大人を見てうんざりした気持ち、医療現場などで必死に働く大人をすごいと思った気持ち。自分の言葉で友達や家族、大人たちに話してみてください。なぜならそれが、あなたたちが大人になった時、こんな騒動や危機を起こさない力になるからです。世の中を変える力になるからです。

わたしたち大人も、この騒動が一段落した後、「命を守るため」という言葉の下に子どもたちに何をしたいのか、ちゃんと検証しなければいけないと思います。

< 9月の行事予定 >

【注意】 今後の愛知県内の感染状況等により、さらに変更する場合があります。

1	火	実力テスト 後期生徒会役員立会演説会・選挙	16	水	短縮授業 フェスタ体育の部全体リハ
2	水	歯科検診(1年) 検尿回収日(未提出者)	17	木	短縮授業 内科検診(1年) グリーンデー
3	木	短縮授業 ⑦委員会	18	金	短縮授業 自然教室事前指導
4	金		19	土	自然教室(2年)
5	土	PTAフェスタ実行委員会	20	日	家庭の日
6	日		21	月	☐ 敬老の日
7	月	生活チェック週間(～11日)	22	火	● 秋分の日
8	火	短縮授業	23	水	自然教室代休日(2年) 短縮授業
9	水	短縮授業	24	木	短縮授業
10	木	短縮授業	25	金	短縮授業
11	金	短縮授業 ⑦委員会 運動器検診(該当者)	26	土	PTA全員委員会
12	土		27	日	
13	日	あいさつ運動 短縮授業	28	月	教育実習開始 トライアングルあいさつ運動
14	月		29	火	短縮授業
15	火	短縮授業 内科検診(1年) ⑦委員会	30	水	短縮授業 時間調整⑤火5⑥火6 歯科検診(3年)